

# 61ha 絆

瀬戸内海に浮かぶ大島。

島のハンセン病療養所「大島青松園」で暮らす東條康江と夫の高。

目は見えず、不自由な体のリハビリを懸命に続ける妻に優しく寄り添う夫。

15歳と18歳で島に来たふたり。

わずか61ヘクタールの島の生活は60年以上に及ぶ。

辛いときにも、嬉しいときにも、ふたりの生活にはいつも歌があった。

礼拝の賛美歌。趣味のカラオケ。三十一文字の短歌。

それらはみな、ふたりが生きてきた証。優しい愛にあふれている。

神に祈り、歌に紡ぐ夫婦の日常を描いたドキュメンタリー。

監督は「ハルコ」「マリアのへそ」の野澤和之。撮影は堀田泰寛。

7年の歳月をかけて撮り続けた夫婦の物語。



「15歳のとき、3年経ったら治るからいけいけと、だまされて入れられたわけや」



山畑に  
トマトの苗を  
植え付けて  
育てるは夫  
食するはわれ

## ハンセン病と大島青松園

ハンセン病は、らい菌によって起こる病気。治療法が確立されている。日本では1907年の法律の制定から1996年に廃止されるまで患者の隔離政策が続いた。現在13か所の国立療養所に約2300人が暮らす。香川県の瀬戸内海の離島にある大島青松園もそのひとつ。1909年の発足当初は、患者定床200床、21名の職員が配置されたが入所者の増加に伴い最大時には860床となった。2012年現在は、高齢化が進み85人が暮らしている。

## 野澤和之 プロフィール

新潟県出身。立教大学大学院文学研究科修了。短編・記録映画の助監督、監督を経てドキュメンタリーの世界へ。文化人類学を学んだ経験から文化・社会の周縁にいる人々を描いた作品が多い。ドキュメンタリー映画の代表作に在日韓国人女性の半生を描いた「ハルコ」(2004年)、フィリピンのストリートチルドレンを描いた「マリアのへそ」(2007年)など

すんまへんな

ろくなこと  
言わんな

ありがとう

洗濯は  
機械がするよと  
さりげなく  
働きくるる  
夫よ愛しき



出演：東條康江 東條高 監督・脚本：野澤和之 プロデューサー：中村孝 インタナショナル映画株式会社 製作・配給 ©2011年「61ha 絆」製作委員会  
www.impcj.jp/61ha/ www.facebook.com/61hakizuna @61hakizuna